



大阪市立 勝山小学校

校長名 南 明義

所在地 〒544-0021 大阪市生野区勝山南1-3-5

電話 06-6716-1166 FAX 06-6716-2466

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671484>



主な学校行事

| | |
|-----|------------------------------|
| 4月 | 入学式 始業式 対面式 学習参観 |
| 5月 | 家庭訪問 春の遠足 避難訓練 |
| 6月 | 新体力テスト 水泳学習 音楽鑑賞会(障がい者理解講演会) |
| 7月 | 学期末個人懇談会 終業式 林間学習(5年) |
| 8月 | 始業式 |
| 9月 | 避難訓練 修学旅行(6年) |
| 10月 | 運動会 |
| 11月 | 全校遠足 日曜参観(作品展) 交通安全教室 |
| 12月 | 学期末個人懇談会 終業式 |
| 1月 | 始業式 全校かるた大会 避難訓練 |
| 2月 | 学習参観 |
| 3月 | 卒業を祝う会 茶話会(6年) 卒業式 修了式 |

教育目標

心豊かな人間の育成

標準服

有



重点目標

良い習慣をつける(学習習慣、生活習慣)

めざす子ども像

「よく学ぶ子」「思いやりのある子」「心身が健康である子」

令和3年度全国学力・学習状況調査

● 平均正答率(%)

| | 国語 | 算数 |
|--|----|----|
| | 69 | 70 |

● 結果概要

国語、算数ともに平均正答率の向上が見られた。特に国語においては、昨年度からの地道な取り組みの成果が表れたものと考えられる。算数も全体的には、できているほうであるが、無回答率が極端に高い問題や、正答率の低い問題がみられ、苦手な単元や問題があることがはっきりわかった。両教科とも、問題文が長く、要点をつかみながら読みこなす力が必要であり、読む力の差が正答率にも反映していると考えられる。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

【国語】
様々な機会を通して、「書く」、「読む」、「考える」機会をつくり、教科横断的な取り組みを心がけた結果、一定の成果がみられた。教えるよりも学ぶ姿勢を引き出す授業づくりを意識する必要がある。

【算数】
単元ごとに理解度の差が見られた。特に、図形問題の正答率が悪い。問題文も整理しながら、筋道をたてて読み取ることが必要であり、ここでも読む力の差が、正答率に反映している。

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

● 種目別平均値

| 性別 | 握力(kg) | 上体起こし(回数) | 長座体前屈(cm) | 反復横跳び(回数) | 20mシャトルラン(回数) | 50m走(秒) | 立ち幅とび(cm) | ソフトボール投げ(m) | 合計得点 |
|----|--------|-----------|-----------|-----------|---------------|---------|-----------|-------------|-------|
| 男子 | 16.54 | 17.54 | 33.04 | 41.65 | 41.96 | 9.07 | 139.19 | 21.00 | 51.52 |
| 女子 | 16.30 | 14.95 | 35.30 | 36.30 | 36.85 | 9.63 | 130.20 | 12.30 | 50.60 |

● 結果の概要

平均値が、大阪市、全国を下回るのは、男子で上体起こし、20mシャトルラン、立ち幅とび、女子で上体起こし、長座体前屈、立ち幅とび、ソフトボール投げであった。体力合計点は、男子51.5(大阪市50.7、全国52.5)女子50.6(大阪市52.8、54.6)であった。運動やスポーツすることは好きですかの質問では、男子100%(大阪市89.8%、全国91.0%)、女子85.0%(大阪市79.2%、全国83.7%)であった。一週間の総運動時間が60分未満の割合は、男子3.9%(大阪市13.2%、全国8.8%)、女子10.0%(大阪市21.5%、全国14.5%)であった。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

運動やスポーツが好きな児童の割合が高く、休み時間は、ほとんどの児童が運動場で、身体を動かしている。ドッジボール、鬼ごっこは、必ずいずれかの学年で行われている。

投げたり、走ったりする項目の平均値が比較的良好なのは、その影響であると考えられる。

しかし、持久力や瞬発力、柔軟性には、やや欠ける点もあり、遊びやスポーツ競技などを通して、補っていくようにしたい。

校長先生のメッセージ

本校は、令和4年5月1日現在、在籍数が189名の学校です。何よりも「良い習慣」をしっかり身につけることを大きな目標にしています。基本的な生活習慣や学習習慣を身につけることは、今後の生活に大きく影響します。日々の学習や様々な生活体験を通して、しっかりとした人生の土台づくりに努めたいと思っています。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

昨年度より「ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくり」を研究テーマに、主体的に学び、協働して活動する子どもを育てる、を目標に取り組んできました。今年度はそれに加え、「書く力」をつける、を研究テーマとして掲げ、国語力を向上させるための取り組みや実践をいくつか取り入れています。大阪市の教育施策に示されている「共に学び、共に育ち、共に生きる」子どもを育てるためには、まず「よい生活習慣、学習習慣を身につける」ことが大切だと考えています。良い習慣を身につけ、「よく学ぶ子」「思いやりのある子」「心身が健康である子」を目指しています。

● 中期目標、年度目標等

- 【安全・安心な教育の推進】**
- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
 - ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
 - ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
 - ・令和4年度の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。
 - ・令和4年度末の校内調査の「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。
 - ・令和4年度末の校内調査の「学校では、命を大切に、人権を尊重する心と態度を育てるための学ぶ機会が多くある」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、60%以上にする。
 - ・令和4年度末の校内調査の「いろいろな国や地域の文化や伝統など

を学ぶ機会が多くある」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、60%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年の比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を30%以上にする。
- ・本年度の学校生活アンケートにおいて、「感染症対策を意識して取り組めた」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和4年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を、80%以上にする。
- ・ゆとりの日を2週に1回設定・実施する。
- ・学校閉庁日については、夏季休業期間中は2日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。
- ・令和4年度末の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。
- ・令和4年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、60%以上にする。

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

■ ICT教育・プログラミング教育

ICT教育に力を入れ、そのための環境を整えています。各教室に天井備付けのプロジェクターや書画カメラを設置し、いつでも画像や映像が見られるようにしています。ソフトバンク社のプログラミング教育プログラムを、昨年度に引き続き今年度も取り入れ、タブレットを使ってPepperと一緒に学習できるロボットプログラミング教育を行っています。ロボットを生活に生かしていく方法を全学年の子どもたちが学んでいます。昨年度はドローンを10基購入しました。ドローンを飛ばす学習や生活に生かす方法も学習していきます。



家庭・地域等との連携

■ 登下校の「見守り隊」

安全のため集団登校を行っています。登校の際、同じ町会の方が児童の集団と一緒に学校まで送ってくださいます。そのおかげで、子ども達は安心して登校することができます。また、下校の際も校門からついて一緒に見守ってくださっています。



特色ある学習活動

■ かるた大会(縦割り班活動)

学年を縦割りにした活動班を作り、1年間同じメンバーと一緒に活動しながら思いやりや協力する大切さを学んでいます。1月はその活動班で、かるた大会をしています。百人一首のかるたを一番たくさん取った班が優勝です。個人の部もあります。かるた大会までは、各学級で百人一首の練習をし本番に備えます。

特色ある学習活動

■ ユニバーサルデザイン授業(障がい者理解・防災学習)

出前授業を積極的に取り入れています。令和3年度は、式町水品さんという神奈川県在住のPOPパイオリニストにお越しいただき、バイオリン演奏をしていただきながら、ご自身の障がいについてやその障がいによっていじめを受けたつらさについて語っていただきました。また、東日本大震災で生き残った「奇跡の一本松」で作製したバイオリンを持ってきていただき、防災についても伝えていただきました。令和4年度も式町さんに来ていただき授業を行っていただきます。

